



正しいことは人の数だけある？

いよいよ今年も後わずかですが、連日不愉快な事件ばかりでうんざりしますが、この状態は今後も続きそうです。中でも気になるのは、自分の「正しいと思うこと」への対応です。それには

1. 何が何でも許さないという問題

十人十色といいます。赤い色が好きな人は、赤いバラが好きなはず、白が好きな人は白いバラが。このように「好きな(正しい)ことは人によって違いますが、自分が正しいと思うことを絶対に譲らない人が増えています。何事も「お互い様」で自分と違うことでも許せる(認める)大様さが必要です。

2. おもいやり

日本には「人の気持ちになって」という言葉があります。何かできないことがある人を誹謗中傷するのではなく、「大丈夫だよ！」とか「誰だってできないことはあるのだから」と励ましたり、安心して取り組める環境づくりをするおもいやりを持ちたいものです。

3. 他者の認識力を養う

人の立場を考えることができるということはその「人(他者)の認識力の養成」が必要です。小さい時から自分と同じ様に「自分を大切に思う人」がいることを体験し、学ぶ場をつくりたいものです。

新年を迎えるにあたり、どのような「子育て」をしようとお考えでしょうか？ まっく代表 向井忠義